

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	港区立児童発達支援センターばお		
○保護者評価実施期間	令和6年12月6日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	214名	(回答者数) 167
○従業者評価実施期間	令和6年12月6日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 31
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんが安心して楽しみに通所しているという回答を多くいただきました。	お子さんが楽しんで取り組めるよう、職員一人一人が考えて活動や課題を工夫しています。	引き続き、ねらいを明確にして、楽しみながら主体的に取り組める活動を考えてまいります。
2	各職種によるフォーマルなアセスメントの他、生活の様子を観察や聞き取りなどによるインフォーマルなアセスメントも丁寧に実施しております。	それぞれの職種の強みを活かし、専門性を高められるよう、研修の参加等の推進をしております。	引き続き、専門性を高められるよう、研修費の助成や内部研修の充実を図ってまいります。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	民間の児童発達支援事業所や、相談支援事業所との連携の充実を図れるとよいと考えます。	民間の利用の手続きが煩雑かつ時間もかかり、わかりづらいため、丁寧に情報を提供していく必要とされます。中核機能として位置づけられたばかりであり、機能の充実を図っている段階です。	適切なタイミングで必要なサービスを利用しやすいよう、相談に丁寧に応じていくとともに、民間の事業所の併用利用がしやすくなるよう、港区との連携も図っています。
2	個別支援内での保護者支援に関する時間の充実を図れるとよいと考えます。	・支援の時間が限られている中で、法内の事業に係る事務手続きが多くあります。	別の時間で来所頂いたり、サービス提供記録のお渡しの方法を検討したりするなどして、引き続き取り組んでまいります。
3			